

平成29年6月16日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

創業者の一人、広岡浅子の学習まんがが約2万4千冊を 全国の小学校・図書館に寄贈

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：工藤 稔、以下「当社」）は、創業115周年を記念し、株式会社小学館が発行する学習まんが人物館「広岡浅子」（以下「本書」）を全国にあるすべての小学校（約20,000）と国公立図書館（約3,600）に寄贈しました。

小学館の「学習まんが人物館」は、真田幸村やナイチンゲールなどの歴史上の人物のほか、手塚治虫やステーブ・ジョブズなど、近年の著名人の生涯を描いた同社の人気シリーズです。シリーズ全作の累計発行部数は285万部を超え、小学生をはじめ、幅広い年齢層から好評を博しています。

当社創業者の一人である広岡浅子の生涯を描いた本書は、第51作目。明治35（1902）年に創業した当社は、本年7月15日に創業115周年を迎えます。この機会に、本書を全国の小学校・図書館に所蔵いただくことで、より多くの子どもたちに浅子の活躍と功績を知ってほしいと考え、本書を寄贈することとしました。



(C) 大谷じろう／小学館

さっそく寄贈先の小学校・図書館からは「子どもたちに喜んでもらえる」「有効活用したい」といった感謝の声が届いています。

女性が表舞台で活躍することが難しかった時代に、どんな苦難にあっても決してあきらめなかった広岡浅子。その座右の銘は、七転び八起きを超える「九転十起（きゅうてんじゅっき）」でした。その姿は、すべての子どもたちに夢と希望、勇気を与えるものと考えています。

【参考1】 女性実業家のさきがけ、広岡浅子



広岡浅子(1849-1919)

広岡浅子は、京都の出水三井家(後の小石川三井家)に生まれ、17歳(数え年)で大坂の豪商・加島屋に嫁ぎます。

維新の動乱で加島屋の家勢が傾く中、浅子は経営の立て直しに奔走。加島屋を炭鉱事業・生命保険事業など近代的な企業グループへと変える中心的な役割を果たしました。

また、浅子は女子教育にも心血を注ぎ、日本女子大学校(現在の日本女子大学)の創立にも尽力しました。

なお、浅子は平成27年度後期連続テレビ小説「あさが来た」(NHK)のヒロインのモデルとなりました。

【参考2】 都道府県別の寄贈数

	小学校	図書館		小学校	図書館
北海道	1,070	193	滋賀	225	50
青森	297	38	京都	388	67
岩手	334	49	大阪	1,011	170
宮城	395	41	兵庫	768	126
秋田	202	51	奈良	208	36
山形	255	38	和歌山	252	38
福島	437	59	鳥取	132	32
茨城	509	68	島根	206	43
栃木	373	54	岡山	396	70
群馬	314	57	広島	487	92
埼玉	817	162	山口	298	54
千葉	819	176	徳島	181	34
東京	1,334	404	香川	163	32
神奈川	885	91	愛媛	284	47
新潟	486	77	高知	196	57
富山	187	53	福岡	753	127
石川	213	42	佐賀	170	44
福井	191	35	長崎	328	51
山梨	181	49	熊本	367	69
長野	370	107	大分	272	35
岐阜	374	82	宮崎	238	36
静岡	512	108	鹿児島	521	88
愛知	969	108	沖縄	270	41
三重	372	48	合計	20,010	3,629

以上